

呼吸器画像が読めるようになる会(KGY) 第11回 教育セミナー ～ 胸部X線写真, HRCT読影の基礎から展開へ ～

開催形式 A)リアルタイム配信講義 会 期: 2022年8月20日(土) 9:55～17:30

起点会場: JCHO 東京山手メディカルセンター3F 会議室

定 員: 90名 (予定、Web聴講のみ)

B)オンデマンド配信講義 期 間: 2022年9月1日(木) 9:55～9月19日(月) 23:00 ※(A)を編集した動画によるストリーミング配信

定 員: 140名 (予定)

受講料: 11,000円(税込、含:講義用テキスト[A4判、モノクロ印刷、約150頁]) ※(A)にご参加頂いた先生方には、(B)の聴講権もあります。

対象医: 若手医師(研修医を含む)、他 診療科/呼吸器内科、総合診療科、放射線科、内科、他。

主 催: 呼吸器画像が読めるようになる会(KGY) URL: <http://kokyuukigazou.kenkyuukai.jp> E-mail: kokyuukigazougayomerukai@medical-ap.jp

共 催: 日本呼吸器学会 関東支部会(申請中)

聴講による認定事項: 本講義(KGY-11th)の聴講に於いて、「日本呼吸器学会 呼吸器専門医資格認定更新2単位」が認定となります。

※1)本講義用テキストは、製作に約3週間必要であること等、ご講義時のスライドと若干相違が生じることがございます。

※2)本ご講義の録画、録音等は、不可とさせていただきます。 ※3)(1)(2)に関し、ご理解とご了承を頂きます様お願い申し上げます。(文責:土田)

【趣旨】胸部X線写真は日常診療の場で最も頻繁になされる検査であり、精細な診断力こそCTに譲るが、検査に伴う被曝を考えると当分第一検査としての座は揺るがない。情報量は非常に多く、病変の発見、そしてある程度までの質的診断も可能であるが、その一方落とし穴も多い。その読影学は我が国で高度の発達を遂げてきたが、現在その技術の伝承は各現場では充分には行われなくなっている。我々はこの分野で臨床、教育に携わってきた者として、胸部単純写真の読影学のエッセンスを若い世代に伝えたいと思い立ち、この会を企画した。併せて呼吸器診療に不可欠のツールとなったHRCTについてもその基礎と重要疾患への応用を視野におさめる。本第11回教育セミナーでは、午後のセッションで、臨床の場での最も重要な切り口、症候から進める胸部画像診断として3人の演者に様々な角度からのアプローチを展開して頂く。

代表: 徳田 均(JCHO東京山手メディカルセンター 呼吸器内科)

【プログラム】

開会の辞 9:55-10:00 徳田 均 先生(KGY代表)

Part.1 胸部単純写真の所見の成り立ちと異常陰影の読影

- ① 10:00-10:45 (45分) 「胸部単純 X 線写真でどこまで読めるか/系統的読影法」
演者: 角 勇樹 先生 東京医科歯科大学 呼吸器・神経系解析学 教授
- ② 10:50-11:35 (45分) 「胸部単純X線写真 -気づきたい!この所見-」
演者: 室田 真希子 先生 香川大学医学部放射線医学講座 講師
- ③ 11:40-12:25 (45分) 「無気肺の成り立ちと読影 ～単純X線とCTを対比させながら」
演者: 楠本 昌彦 先生 国立がん研究センター中央病院 副院長・放射線診断科 科長
- ④ 12:30-13:15 (45分) 「胸部単純撮影上の網状影について」
演者: 酒井 文和 先生 元 埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 教授

Part.2 HRCTの読影の基礎と実践

- ⑤ 13:20-14:05 (45分) 「小葉を基礎とした読影法の原理、各パターンの典型例」
演者: 徳田 均 先生 JCHO 東京山手メディカルセンター 呼吸器内科
- ⑥ 14:10-14:55 (45分) 「肺結節のCT診断の基本 ～悪性と良性の鑑別点」
演者: 楠本 昌彦 先生 国立がん研究センター中央病院 副院長・放射線診断科 科長

Part.3 症候から進める画像診断

- ⑦ 15:00-15:45 (45分) 「血痰・喀血を呈する呼吸器疾患」
演者: 芦澤 和人 先生 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学 教授
- ⑧ 15:50-16:35 (45分) 「喘鳴を呈する呼吸器疾患」
演者: 氏田 万寿夫 先生 立川メディカルセンター 立川総合病院 放射線科 主任医長
- ⑨ 16:40-17:25 (45分) 「症状が乏しい患者の画像診断」
演者: 栗原 泰之 先生 聖路加国際病院 放射線科 部長

閉会の辞 17:25-17:30 氏田 万寿夫 先生(KGY代表)

【参加の申込み要領】

※本会サイト(URL: <http://kokyuukigazou.kenkyuukai.jp>)もご覧頂ければ幸甚に存じます。

- ① 受講をご希望の方は、下記(1)～(4)をご明記の上、E-mail: kokyuukigazougayomerukai@medical-ap.jp へご連絡ください。
- ② 受講希望のご連絡を頂き次第、本会事務局より、受講料の振込み口座などを記した「ご案内状」を、下記(4)のE-mail宛にお送り致します。
- ③ 正式なお申込みは、②「ご案内状」をご確認頂き、受講料の入金をご確認させて頂きました後です。その後、受講票などをお送り致します。
※早い時期に、定員に達すると予想され、ご希望に副えない場合もございます。ご容赦ください。

□「呼吸器画像が読めるようになる会(KGY) 第11回教育セミナー」(A:2022/8/20・B:2022/9/1～9/17)の参加を希望いたします。

◇ご希望頂く講義形式を 必ずお教え下さい。 A) リアルタイム配信講義 B) オンデマンド配信講義	(1) 参加者氏名/フリガナ	(2) 所属施設・所属科(並びに、初期研修医・後期研修医・専門医・その他、…)
	(3) 郵便番号・ご住所・お電話番号	※注1)「受講票」、「領収証」、並びに「講義用テキスト」のご郵送先となります。 ※注2)特に、「講義用テキスト」のご郵送の折、お電話番号が必要となります。
	(4) 連絡先E-mail	

【お問合せ】呼吸器画像が読めるようになる会 事務局: 土田 謙二 E-mail: kokyuukigazougayomerukai@medical-ap.jp TEL: 047-360-0802、080-1156-6062